

2016年3月11日

各位

会社名 パンチ工業株式会社  
 住所 東京都港区港南二丁目12番23号  
 代表者名 代表取締役社長 武田 雅亮  
 (コード番号: 6165 東証第一部)  
 問合わせ先 取締役管理本部長 村田 隆夫  
 TEL. 03-5460-8237

## 中期経営計画「バリュークリエーション2020」策定に関するお知らせ

当社は、2016年度から2020年度までの5カ年を計画期間とする新・中期経営計画「バリュークリエーション2020」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

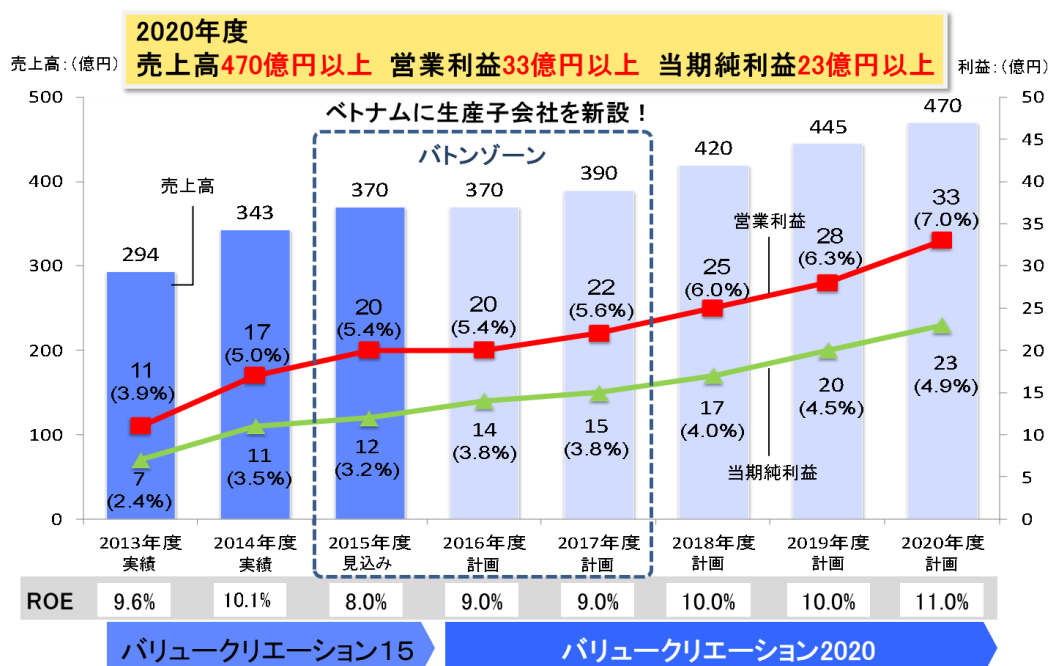
### 記

当社グループは、企業ビジョンの実現に向け、2015年度を最終年度とする中期経営計画「バリュークリエーション15」を推進し、「グローバル化」「新市場の開拓」及び「高収益事業モデルへの転換」の3点を重点経営課題と定め、東南アジア・インドや欧米市場での販売拡大、日本及び中国などにおける新規事業受注活動の強化、そして製造原価の低減などに取組んでまいりました。

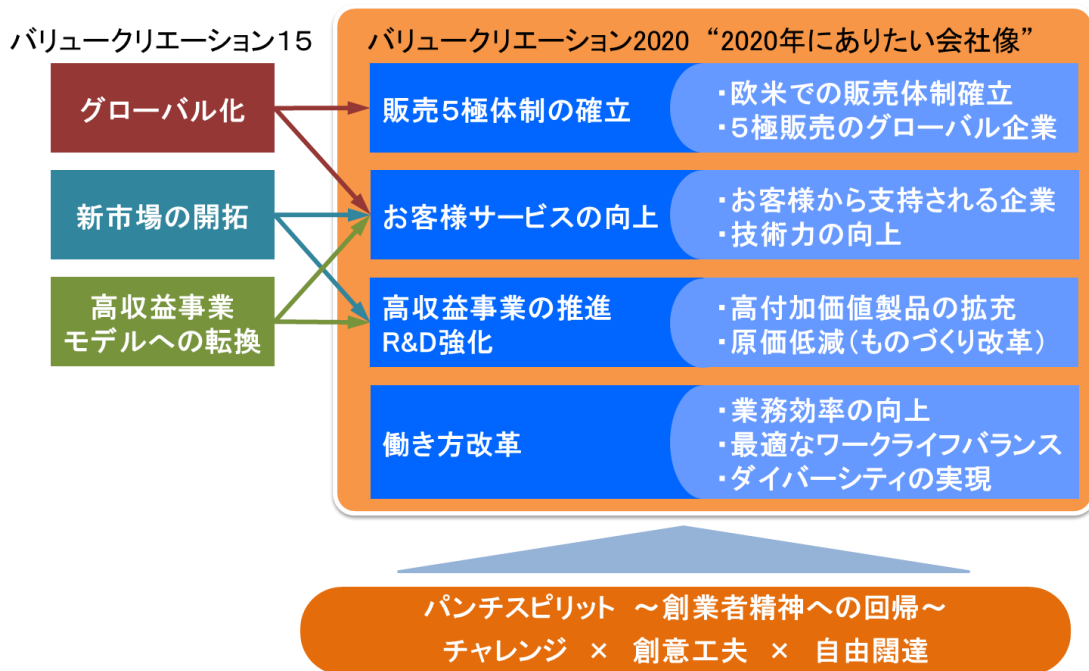
新・中期経営計画「バリュークリエーション2020」(以下、「VC2020」)の策定にあたり、当社グループを取り巻く経営環境は、全体としては緩やかな成長が続くことが期待されているものの、各国の金融政策の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、原油価格等の下落の影響、地政学的リスク等について留意すべき状況が続いております。当社グループが事業を営む金型部品業界におきましても、日本国内では引き続き低成長、中国では高成長から安定成長への緩やかな移行、インド・東南アジアでは成長加速が見込まれるものの、先行きの不透明感は否めない状況にあります。

このような現状認識のもと、経営環境の変化に迅速に対応し、成長をより一層確実なものとするため、2016年度から2020年度までの5カ年を計画期間とする「VC2020」を策定いたしました。

### 1. 経営目標 (連結業績)



## 2. 重点経営課題



「VC2020」では、これまでの「グローバル化」「新市場の開拓」及び「高収益事業モデルへの転換」の3つの重点経営課題を更に発展、深化させ、新たに“2020年にありたい会社像”として、「販売5極体制の確立」「お客様サービスの向上」「高収益事業の推進とR&D強化」「働き方改革」の4つを定め、これらに取組んでまいります。

そして、現在のような先行きが不透明な時代こそ、創業者の情熱や執念といった起業の原点に立ち返ることが必要であるとの思いから、改めて「創業者精神への回帰」を企図した「パンチスピリット」を制定し、「チャレンジ」「創意工夫」「自由闊達」の3つをキーワードに、グループ全体への浸透を図って行くことといたしました。

さらには、「VC2020」スタートに先駆け、海外においてはベトナムに生産子会社を新設し、本年10月の稼働へ向けて準備を開始いたしました。また日本においては、本年3月下旬に本社及び一部の販売拠点を移転し、業務効率の向上、最適なワークライフバランス、そしてダイバーシティの実現を通じて社員の幸福を目指す「働き方改革」へ着手するとともに、お客様の新たなニーズを創造するための施策を推進してまいります。

また、「VC2020」の“2020年にありたい会社像”実現とコーポレートガバナンスの強化を企図し、本年4月1日付で経営体制を刷新いたします。詳細は本日公表の「新経営体制に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上の取組みを着実に進め、金型用部品で「世界のものづくり」に貢献することにより、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

なお、詳細は当社Webサイトに公開いたします。

URL: [http://www.punch.co.jp/ir/med\\_management.html](http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html)

以上

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料記載の将来に係る一切の記載内容は、当社が本資料作成日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により記載と異なる可能性があります。